



全国酸素部会新聞

発行 建交労 全国酸素部会機関紙部
大阪府堺市西区石津西町12番

TEL 072-241-6660

メール zenkoku.sanso@gmail.com

HP <http://sansobukai.web.fc2.com>



第40回全国酸素部会総会

2022年10月9日、大阪PLP会館にて第40回全国酸素部会総会に参加しました。コロナ禍の中でもあり、感染防止対策を徹底し32名が参加した中で開催されました。

1年間の到達をふまえて総括し、次年度への運動の意思統一をはかることを目的とし、高圧ガス輸送分野における低賃金・長時間労働・重大事故をなくす諸要求を実

現するため、参加者の真剣な表情が印象に残りました。

相澤部会長の代表挨拶はラグビーで例えられる“One for all, All for one”を使っ

つぎに全国トラック部会事務局長の鈴木氏による学習会が行われ、物流の2024問題を

前日に行われたメーカーごとの連絡会の報告を、様々な方向から問題点を見

最後は相澤部会長による力強いガンバロー三唱で総会を閉めくりました。

連絡会と酸素部会総会の2日間を振り返り、組合員拡大をすすめ酸素部会へ



加入を働きかける運動の必要性を感じたことや、現状報告と対策または改善基準告

九州液送分会 井上厚

大陽液送を退職しました

65歳で再雇用契約が終わり大陽液送を退職しました。

私が入社をした年が分会結成10年を迎えた時でした。全自運時代からもうすぐ50年を迎え

「1.機関会議の確立」「2.交渉機能の確立と強化」「3.財政の確立」「4.教育・学習活動の確立」を職場で点検して

私は自信を持ってこの組合で頑張ってきた良かったと思っています。今後も引き続き組合の役員として残りますので

大陽液送分会 鷹巣準



大陽日酸連絡会

2022年10月8日(土)PLP会館にて第34回大陽日酸連絡会が開催されました。コロナ禍という事もあり、アルコール消毒などの感染防止対策を徹底しました。

大陽日酸を荷主とする運輸会社に所属する組合員が全国から7職場10名が集まり、各職場の現状報告、今後全ての職場に直面する問題として2023年4月には【月60時間超えの時間外労働】 また2024年4月には【時間外労働の上限960

時間】が施工されますが、この2つについて対策、どのような交渉をしていくのか議論が行われました。

課題は山積みですがやはり人員の確保が不可欠で、労働者の就労環境を整え働きやすく、若手が育ち、永く勤めることの出来る環境作りが急務で、それが組合員拡大につながるといいます。

新型コロナ蔓延からもう3年になりますが、来年こそコロナを気にする事なくマスク着用なしで全国の皆さんと会える事を願っております。

寿運送分会 宮川大輔



日本エア・リキード連絡協議会 (ALJ 連絡会) 第15回総会

2022年10月8日(土)テーエス、イワサワ、マルエスより8名が出席し、第15回連絡会総会がおこなわれました。総会ではトラックの改善基準告示の見直しについて学習し、各輸送会社の現状報告や各職場の問題点について議論をおこないました。2023年度の新役員体制と具体的方針が確立され総会は終了しました。



ALJ関連ではたらく労働者で組織され、「安全・安心」な職場環境の構築を目指し、結成された日本エア・リキード連絡協議会は、これまで、独自アンケートのとりくみや、懇談会の開催など協議会としてのとりくみをおこない、一定の成果や到達点ができましたが、最大の課題である関連企業ではたらく労働者の会員拡大については進んでいないのが現状です、会員の拡大は急務の課題です。同関連で働く全ての労働者を視野にいたとりくみをすすめていくことが求められます、会員拡大につながるように頑張っていきます。

テーエス支部尼崎分会 木田英樹



3年ぶりに開催された岸和田だんじり祭



大阪泉州岸和田だんじり祭が3年ぶりに通常開催されました。このコロナ禍の影響で、令和2年は終戦直後の1945年以来75年ぶりにだんじり祭が中止になり、令和3年は市が無観客を呼びかけ、約半数の町はだんじり曳行を自粛し規模を小さくしての開催でした。そして岸和田市制100周年を迎える今年こそはと祭礼団体が一丸となり準備を進め、待ちに待った岸和田だんじり祭の日を迎えました。城下町である岸和田旧市街地を22町のだんじりが勇壮に駆け抜け、豪快なやりまわしを見せ、岸和田が熱狂に包まれた2日間でした。

大陽液送分会大田貨物班 長谷川達三

